

患者さんから「ありがとう」、「佐々木君でよかった」と声を掛けていただいた時は、とてもやりがいを感じます。これからも、患者さんや周りの方から信頼される看護師をめざしていきます。

医療法人社団まりも会 ヒロシマ平松病院

看護師 佐々木克洋 さん

医療専門課程53回生



看護師になりたいと思ったきっかけ

大学卒業後の進路を考える時期に母親が祖父母の介護をしており、大変そうにしている姿を見て、「少しでも力になれることはないかな」と思っていました。また、以前から看護には興味があったのと、母親を手伝える知識がつけばいいなと一念発起し、資格を取ることにしました。受験に向けて1年勉強し、24歳で医療高等課程（准看護師科）へ入学しました。「絶対、看護師免許を取るんだ」と、辛いことがあっても、やり抜く気持ちで5年間がんばりました。

在学中の一番の思い出

一番の思い出は実習です。実習はやはり大変で、グループのメンバーと協力し、励まし合わないと乗り越えられなかったと思います。



後輩と物品確認をしている佐々木さん。

専門課程（看護科）の最初の実習で、担当させていただいた患者さんのことは今でも覚えています。女性の高齢の方で、体をあまり動かさないことから、私はトイレ介助を行うことにしました。しかし、高齢の方のお世話することが初めてだったので、どれぐらいの力具合で抱えればよいのかとか、どのような声掛けをすればよいのかなど戸惑いました。それでも自分なりに一生懸命患者さんの安全に気を付けながら援助をしようとすると、「いいよ、いいよ」と優しく言ってくださり、がんばって動こうとしてくださったのを覚えています。

ヒロシマ平松病院で仕事を始めたきっかけ

ヒロシマ平松病院での実習を終えた友達から、「実習、良かったよ」と言ってくれたので、この病院に興味をもちました。それで見学に行き、やってみたいと思っていた回復期リハビリテーション病棟のほかに、地域包括ケア病棟もあることを知り、入職を希望しました。

現在担当されている仕事内容

配属先は入職からずっと地域包括ケア病棟で、4年目になりました。地域包括ケア病棟は、急性期を脱し、リハビリを目的としておられる患者さんが多い病棟です。リハビリを直接行うわけではありませんが、看護師として、「この方は、今後、自宅に帰られるんだから」と退院後の生活を考えながら看護を提供しています。介助の際も、全部私が行うのではなく、できることはさせていただいたりして、声掛けや指導をしています。

仕事をするうえで心がけていること

コロナ禍のため、入院患者さんご家族の面会が制限されている今だからこそなのですが、入院時にご家族と一緒に来られた時は、患者さんについてお話を聞くことができるチャンスなんです。だから意識して、入院前の状況や普段はどのような生活をされておられるのかなど、情報収集をしっかりと行います。

その情報をどれだけ取れるかで、入院中どういった看護をしていくかに繋がるので、先輩に指導してもらいながらではありますが、意識して行っています。

看護で大切にしていること

学生の時からなのですが、患者さんに対して柔らかい表情で接することを大切にしています。病室に初対面の看護師が入ってきた時、患者さんから見て硬いというか、怖い印象だったら一歩引かれると思います。

普段の生活であれば、初めて会った人間にあれこれ話をする場面はないと思います。でも、看護の場では、患者さんはいきなり話をしなければならぬ状況におかれてしまうので、挨拶も含め笑顔で接し、安心していただける雰囲気づくりを心がけています。

成長できたなと思えたのはいつ頃ですか？

夜勤に入るようになり夜勤帯の仕事も分かるようになってくると、日勤帯で勤務する時も、「これをしておかないと、夜勤の人に迷惑がかかる」と考え、行動できるようになりました。



ナースステーションでの勤務風景。

その頃ぐらいに、周りの方から「表情が変わったね」と声を掛けてもらえ、少しは成長できたのかな？と感じました。

看護師としてうれしかったことは？

元気になって退院された患者さんが、自分が指導したことを自宅でも行ってくださっていることを聞いたりすると、「この患者さんには、ということが必要かな？」と、思いながらやって良かったという気持ちになります。

看護師をめざす後輩へメッセージ

私は24歳から学校に入学し、5年間をかけて看護師になりました。学生時代は辛い時や、勉強が嫌になることがあると思います。しかし、今だからこそ言えるのですが、多くの先生から広く深く教えていただけるのは、その時しかないのです。勉強で得たことは、実習や就職してからも繋がっていきます。是非、学べる時間を大切にがんばってください。

医療法人社団まりも会 ヒロシマ平松病院の紹介

急性期を中心に回復期リハビリテーション、地域包括ケア病棟を有しておられる病院です。

整形外科、内科、外科、脳神経外科など、幅広い領域を診療され、患者さんが手術や治療を受け、順調に回復していけるよう、ニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供されています。

救急搬送患者の受け入れも積極的に行われ、地域の救急医療にも貢献しておられます。

当校の実習施設としても、多くの学生を受け入れていただいています。



地域包括ケア病棟の皆さん。

広島市南区比治山本町11-27
TEL (082) 256-3650 (代表)

ヒロシマ平松病院のホームページはこちら
<https://www.marimokai.or.jp/>